

平成23年度シラバス 第3学年「算数科」

広島市立広瀬小学校

目標	・数量や図形についての算数的活動をとおして、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しを立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理の良さに気づき、進んで生活に活かそうとする態度を養う。		
学年	学習内容・到達目標	学年	学習内容・到達目標
前	<p>かけ算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗法に関する成り立つ性質がわかる。また0の乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方がわかる。 <p>時こくと時間のもとめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間の違いがわかり、1分=60秒、1時間=60分、1日=24時間の関係がわかる。 <p>わり算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除法が用いられる場面や意味がわかる。また、乗法九九を用いた乗法の答えのもとめ方がわかる。 <p>円と球</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円や球の定義と性質がわかり、コンパスを使って円をかくことができる。 <p>たし算とひき算の筆算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3位数)±(3位数)や(4位数)±(4位数)の計算のしかたや、計算の確かめのしかたがわかる。 <p>暗算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗算のよさを認め、生活に活かそうとする。加法や減法の暗算のしかたがわかる。 <p>あまりのあるわり算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりのあるわり算の意味や処理のしかたを具体的な場面と結びつけながら説明することができる。 ・計算やあまりの処理ができる。 <p>大きい数のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一億までの数の構成がわかる。「=」や「>」、「<」が数や式の相等関係や大小関係を表すことを理解している。10倍、100倍したり、10でわったりした数のもとめ方がわかる。 <p>かけ算の筆算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2・3位数)×(1位数)の計算のしかたを考えたり、計算のしかたを説明することができる。 	後	<p>大きな数のわり算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90÷3などの計算の仕方を、図や式を用いて、被除数を10を単位として相対的にとらえて考え、説明することができる。 <p>長いものの長さのはかり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻尺の使い方や、「道のり」と「きより」の意味がわかる。また、kmとmの関係(1km=1000m)がわかる。 <p>小数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/10の位までの小数の加法、減法の計算のしかたを考え、計算ができる。 ・小数の意味とその表し方がわかる。また小数の相対的な大きさがわかる。 <p>三角形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形と正三角形の定義、性質、かき方がわかる。 <p>分数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の表し方と仕組みがわかり、分数のよさがわかる。 ・分数の大きさを比べることができる。 <p>□を使った式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□を用いて問題場面を加減法や乗法で表すことができる。 <p>かけ算の筆算(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗数が2位数になっても、乗数の位ごとにわけて計算し、その部分を足すと、積が求められるという筆算の意味がわかる。 <p>ぼうグラフと表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフをよんでもかいたりできる。また、目的に応じてこれらを使い分けることができる。 <p>重さの単位とはかり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の重さも他の重さと同様に単位とする重さを決め、そのいくつ分で測定できることを道筋を立てて考えることができる。 ・はかりを使っていろいろな重さを測り、gやkgの単位を用い <p>そろばん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そろばんの仕組みや使いかたに关心を持ち、そろばんを使って計算しようとする。 <p>3年のふくしゅう</p>
期			

算数科の評価

- ・算数科では4つの観点で評価します。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生きかそうとする。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	整数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに物の大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味および資料の表し方を理解している。

・次のような方法で見ていきます。

発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 発表 取り組む様子 感想文 ワークシート 練習問題 ドリル

おうちの方へ

図形や数量について、算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身につけさせたいと思います。学習の定着を図るために、算数ドリルや学習プリントなどを活用し、繰り返し学習します。家庭学習にも取り入れます。励ましの言葉かけをしていただきますとより学習効果が上がると思います。